

会議録

会 議 の 名 称	平成27年度第2回清須市健康づくり推進協議会
開 催 日 時	平成28年2月10日(水)午後2時~午後3時35分
開 催 場 所	清須市役所清洲庁舎 202会議室
議 題	1. あいさつ 2. 保健事業について 3. 健康日本21清須計画(第2次)推進について ①「健康づくりを考える会」報告 ②「市担当職員 実務者会議」報告 4. その他
会 議 資 料	会議次第 会議資料 資料1 保健事業 資料2-① 健康づくりを考える会(市民ワークショップ)【1日目】 資料2-② 健康づくりを考える会(市民ワークショップ)【2日目】 資料3 実務者連絡会議
公 開 ・ 非 公 開 の 別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍 聴 人 の 数 (公開した場合)	0人
出 席 委 員	加藤委員、鬼頭委員、辻委員、小川委員、近藤委員、佐橋委員、伊藤委員、奥山委員、波多野委員、村上委員、川原崎委員、大池委員、鈴木委員(清須保健所長)
欠 席 委 員	山内委員、後藤委員
出 席 者 (市)	濱島健康福祉部長
事 務 局	[健康推進課] 田中課長、武居主幹、古川課長補佐、幸村係長、舟橋係長、坂下係長、上田栄養士 [高齢福祉課] 森川主幹
会 議 の 経 過 《要旨》	1. あいさつ 加藤会長： 本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。今年の冬は暖冬と言われておりましたが、最近は寒い日が続き例年並みにインフルエンザ警報も出ております。皆様も体調管理にご留意ください。 健康日本21清須計画を推進していく年となっております。計画の推進にとあたり皆様から活発なご意見を頂きたいと思っております。 2. 議題：事務局より資料及び参考資料に基づき説明。 (1) 保健事業について (2) 健康日本21清須計画(第2次)推進について ①「健康づくりを考える会」報告 ②「市担当職員 実務者会議」報告

加藤会長：ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。

佐橋委員：たばこは何歳ぐらいから影響がありますか。

事務局：流産・早産等を起こしやすいことがわかっており、妊娠中から影響があります。たばこを吸う妊婦さんと吸わない妊婦さんでは、出生時の赤ちゃんの体重に200g前後差があるというデータがあります。赤ちゃんの呼吸器にも影響があるといわれています。

佐橋委員：たばこよりもスマホを使用しながらの子どもを抱っこしている姿をよく見ますがそちらの方が影響があるのではないのでしょうか。

鬼頭委員：たばこは、歯周病や歯石が付きやすいなどの影響があります。子どもも家庭内で家族がたばこを吸っていると歯茎が黒くなるなど影響がみられます。

鈴木委員：肺がんは全員ではありませんが、若年から吸うと影響が大きいです。また、若いうちにやめるとたばこの影響を改善できます。肺がんとの因果関係が分かっている石綿の害より、たばこは10倍位の影響があります。

大池委員：たばこを吸っている妊婦に禁煙の必要性を話していると言われましたが、妊婦がたばこを吸っている割合は、どれくらいですか。

事務局：妊娠届出時に全員に実施しているアンケート調査の平成26年度結果は、全体の0.9%、7名の方が吸っていました。また、3.9%、30名の方が妊娠を機にたばこをやめたと答えています。また、乳幼児健診時のアンケートから母親の喫煙状況を見ると4か月健診では3.2%、1.6歳児健診4.1%、3歳児健診3.0%の方が喫煙していました。このことから、妊娠中に一時的に禁煙できても産後またたばこを吸い始めている状況が見られ、今後も啓発に力を入れていきたいと考えます。

波多野委員：携帯電話をしながら子どもを抱っこしている母親、喫煙している母親は母子保健推進員としても心配しており、柔らかくお話しさせていただくよう心がけています。全体的にみて子育てにふさわしい家庭かどうかを確認しながら、支援の必要性を健康推進課へ報告しています。

小川委員：資料1について健診受診者を受診率で示していただけるとわかりやすいと思います。3月1日より子育てアプリが開始されると聞いています。導入されることで受診率がアップするか効果的に使われているか確認できると思います。健康日本21清須計画(第2次)概要版の全戸配布はしませんでした。広報等で情報を十分に出していくことが大切です。計画を策定しその効果はどうだったのか知りたいと思います。また寿命について計画策定時と現在とどのような変化があるのでしょうか。

事務局：健康計画の認知度では、前回概要版を全戸配布しましたが、認知度が低かったことから、2次計画では全戸配布を行わず、毎月広報で周知しています。また、色々な方法で地域の皆様のお力を借りて情報を発信していきたいと考えています。

母子保健の乳幼児健診は、ほぼ100%に近い受診率ですが、特定健診はその半分の受診率、がん検診についてはさらにその半分の状況です。

健康寿命についてみますと、清須市のデータはありませんが、愛知県の最新の情報として、平成22年の男性は71.74歳、女性は74.93歳でしたが、25年は71.65歳、女性は74.65歳となっています。

加藤会長：情報難民はどこにでもいます。IT・ICT・声掛けなど、どのような方法が良いかも含め、引き続き情報発信を続けて下さい。

佐橋委員：がんは厄介な病気ではないということを伝えてはどうでしょうか。がんは怖い病気という意識が強く、検診を受けることに抵抗があるのではないで

しょうか。早期なら治ります。手術方法がいろいろありますが、市民は知りません。治療方法を知ること受診率の向上につながるのではないのでしょうか。

加藤会長：病気についても啓発が必要です。がん検診の方法もニーズに合った方法でできるよう計画しています。

小川委員：がん検診の方法を知らないこともあると思います。前立腺がん検診の方法を知らない人は多いです。血液検査のみであることを伝えていくこともいいのではないのでしょうか。

辻 委 員：検診等受けない網から漏れた方はどうすればよいか。どのように導くのが大切だと思います。

加藤会長：つながろうというテーマについて住民代表の立場からご意見はありませんか。

川原崎委員：がんの治療方法も選択肢があり、治療費も違います。先進的な治療法についてこれは何かと思ったら、すぐに見ることができるものがあるとよいと思います。つながることについては、仕事仲間と情報交換、卓球・ボーリング・高齢者のスポーツをとおして、仲間を増やすことができると思います。家庭内でも情報交換できると思います。

村上委員：自殺者が交通事故死より増えている状況があります。今後職員のストレスチェックを実施し、結果をみてどのようなアクションを行うか準備していきたいと思います。昨年職員がロシアに出国しました。ロシアは平均寿命が60歳です。タバコ・酒が安く購入できることも影響していると思います。また日が長く、夜の9時から10時でも明るく、朝4時ですぐに明るくなります。冬は-20度、-30度と寒く外に出づら、運動しづら状況があります。人間ドックは海外だと10万円はかかりますが、日本では3~5万円で受診できる状況です。受診して必要なら早期に治療するとよいと思います。

鈴木委員：ワークショップ2日目に参加して地域でつながることを素晴らしいことだと思いました。今後、高齢化社会に向けて在宅医療、地域包括ケアシステムの構築等地域力が重要になってきます。また、医療費がかかる病気を予防するとともに、入院を減らすために重症化予防も必要です。個人でも運動等で自己管理や病気の予防をしていくことが大切です。スマホを歩きながらされている方が多いのは気になります。

佐橋委員：健康のためには大きな声を出すことも大切です。カラオケもいいと思います。

加藤会長：健康な地域づくりは、1人ひとりの健康が不可欠です。

皆様、長時間にわたる協議を、ありがとうございました。

事 務 局：大変貴重なご意見をありがとうございました。本来でしたら、市長よりご挨拶させていただくところですが、本日は公務のため市長に代わりまして健康福祉部長よりご挨拶させていただきます。

濱島部長：本日は、お忙しい中、熱心にご審議いただきまして、心から御礼を申し上げます。また、日ごろから健康福祉行政におきまして、深い御理解と多大な御協力を賜っておりますことを、この場をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。健康づくり推進協議会委員の任期が今年度末をもって満了となります。任期中には、健康日本21第2次清須計画策定にご尽力いただき、皆様から貴重なご意見を頂き、計画を策定することができました。今年度からの計画推進におきましてもお忙しい中、様々なご意見を頂き、ありがとうございました。今後も、各界代表として、市民協働の健康づくりのためにお力添

えをよろしく申し上げます。

【閉会】

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

署名委員

小 川 禎 一 ㊟

波 多 野 眞 純 ㊟

会 議 の 結 果	会議の経過に示した通り
問 合 せ 先	健康福祉部健康推進課 0 5 2 - 4 0 0 - 2 9 1 1 (代表)